

**ヒルモートン校生がホームステイで本市を訪問** 4/25 (金)



ニュージーランドの南島、クライストチャーチにあるヒルモートン校の生徒たちが本市でホームステイすることを報告するために市長を表敬訪問しました。ホームステイ受入事業で同校の生徒が訪れるのは今回で10回目となります。生徒たちは、日本語で上手に自己紹介をしていました。

**～一面の黄色いじゅうたん～ 翠波高原・菜の花まつり** 4/20 (日)



翠波高原で菜の花まつりが行われました。昨年はシカの食害で大きな被害を受けましたが、今年はたくさんの花を見ることができました。冷たい雨がぱらつく天気となりましたが、多くの観光客が訪れ、咲き揃い始めた菜の花畑を楽しんでいました。

**～親子で「食」と「農」について学ぶ～ 市学校給食米田植え体験会** 4/26 (土)



土居町津根の長津干拓で、市産地消推進委員会主催の市学校給食米田植え体験会が行われました。今年で10回目の実施で、市内の小学生と保護者など約220人のほか、早乙女姿に扮した参加者もあり、泥だらけになりながらも楽しそうに約30アールの田んぼに苗を植えていきました。

**四国中央医療福祉総合学院へ感謝状を贈呈** 4/21 (月)



オリジナル介護予防体操「しこちゅ～体操」を作成、寄贈した四国中央医療福祉総合学院の学生、宮本宏輝さん、合田まいさんに市長から感謝状が送られました。この体操は、楽しみながら筋力維持などの運動ができる内容となっており、今後、介護予防の普及・啓発に活用されます。

**～美しい川を守るために～ 鮎放流事業** 5/2 (金)



銅山川漁業協同組合（坂上正則組合長）による鮎放流事業が行なわれました。この事業は、水産資源の繁殖・保護・増産と遊魚などによる観光振興につながることを期待して実施されています。当日は、組合員や関係者30人が、銅山川に10cmほどの鮎の稚魚約15,000尾を放流しました。

**～日頃の鍛錬の成果～ 四国バレーコンクールで優勝** 4/22 (火)



美佳バレースクール（山口美佳代表）の倉本芽実さん（大手前中学校1年生）が市長を表敬訪問し、3月に徳島市で開催された第32回四国バレーコンクールの児童Aの部において優勝したことを報告しました。倉本さんは優勝した喜びと周りの人への感謝の気持ちを話していました。



こどもフェスティバル



みしま子どもの祭典



土居釣り大会

子どもたちの健やかな成長を願い、市内各所でさまざまな催しが行われました。川之江児童館ではこどもフェスティバル、三島児童センターではみしま子どもの祭典があり、こいのぼり集会や輪投げなどのゲーム、人形劇、工作遊びなど、会場は子どもたちの笑顔や元気な笑い声に包まれました。また、土居町の浦山川では約7,000尾のマスなどを放流して土居釣り大会が行われ、市内外から訪れた参加者が大物を狙って釣りやつかみ取りを楽しみました。悪天候の中での開催となりましたが、各会場とも家族連れなどでにぎわいました。

～大きくなって戻ってきてね～  
園児らが稚鮎を放流

5/12 (月)



金生川で、銅山川鮎釣りクラブと国際ソロプチミストイースト愛媛主催の稚鮎放流事業が行われました。この事業は、「美しい川はみんなを守るもの」という気持ちを育むことを目的に毎年行っているもので、参加した市内の幼稚園、保育園の園児たちが約7,000尾の稚鮎を放流しました。

～愛媛から緑いっぱい夢いっぱい～  
愛媛県植樹祭

5/10 (土)



伊予三島運動公園で愛媛県植樹祭が開催されました。式典では、表彰や松柏小緑の少年団による活動発表が行われたほか、市内の緑の少年団の代表が力強く誓いのことばを述べました。その後参加者たちは、ふるさとが緑や花でいっぱいになることを願い、記念植樹を行いました。

夜中に、走るでもなく、歩くでもないくらいスピードで、5キロほどジョギングをしていたら、歩道の街路樹が大きくなり、舗装を持ち上げてこけそうになった。

40年近く経つと、根が歩道の下を伸ばして行くから、木も必死で成長しているのだろう。植えた頃には想像も出来なかっただろうが、本当に大きくなるのである。木は上に伸びるだけでなく、横にも広がるから、1年経てば堂々としてくる。

海岸通りの両サイドの木々は、薄明かりの中であって、偉そうにさえ見えてくる。

時々、トラックのライトが遠くから照らしこくる。こんな時刻でも、運転して働いているのだ。

製紙工場から上がる蒸気は、昼間とは違って、暗闇の中でも良くわかる。工場だから当たり前といえばそれまでだが、機械は昼も夜も働いているのだ。当然夜勤労働の人もいる。みんな一緒にあって、この町の産業を支えてくれている。

樹木はいま、一年中で一番元気である。山に入ればわかるが、喜々として初夏の風を楽しんでいる。

1時間余の運動だが、ストレス解消と運動不足解消には役立っているだろう。この1年は少しサボっていたが、前後左右に気をつけながら、誰もいない道走る快適さは海岸通りならではない。

あまり人にはお勧めではないが、自分は、結構長くやっている。頭の中は、ぐちゃぐちゃした思いが一杯詰まっているが、段々と身体の方が疲れてきて、家に帰る頃には、相当すき間だらけになっている。

「まあ、何とかなるさ」という具合になる。

風呂に入ると、「さあ寝よう、明日があるさですよ！」

心底そう思えるから人間の体は不思議である。樹木とは、ちよっと違うかもね！

市長の  
ひとりごと



四国中央市長  
篠原 実

テーマ  
真夜中の  
ひとりぼっち